

文学作品でめぐる能登 Noto: A Journey through Books

会期：2026年3月31日（火）～7月3日（金） 場所：中央図書館「思考の森」展示コーナー

令和6年1月の能登半島地震発生後、金沢大学では全学を挙げて復興支援の取り組みを行ってきました。その活動を紹介する資料館企画展「NOTO～共に歩み、切り拓く。超えて、その先へ～」と連携して、附属図書館では能登が登場する文学作品や能登に縁のある作家たちの作品を集めた展示を行います。資料館での展示とあわせてお楽しみください。

【会場1】資料館側入口展示ケース内

1 加藤シゲアキ他『あえのがたり』講談社、2025年

2024年の能登半島地震支援のために企画された、さまざまな分野の作家10名によるチャリティ短編小説集。標題は奥能登の伝統儀礼「あえのこと（田の神へのもてなし）」に由来し、「物語によるおもてなし」として出版された。展示本には、著者（3名）のサイン入り（個人蔵）。

参加している作家：加藤シゲアキ、朝井リョウ、今村昌弘、蟬谷めぐ実、荒木あかね、麻布競馬場著、柚木麻子、小川哲、佐藤究、今村翔吾著

2 杉森久英『能登』集英社、1984年

金沢大学の前身の一つ第四高等学校出身の直木賞作家、杉森久英(1912～1997)が、出身地・七尾を舞台に、能登の風土とそこに生きる人々の姿を描いた自伝的小説。1985年に第13回平林たい子賞を受賞。展示本には杉森自身のサイン入り。

3 Percival Lowell『Noto : an unexplored corner of Japan』Houghton Mifflin, 1895, c1891

米国の天文学者・パーシヴァル・ローエル（1856～1943）が、1889(明治22)年5月に行った能登旅行の紀行文。旅行の折り返し地点の穴水町（現石川県鳳珠郡）にはその顕彰碑がある。展示本は、旧第四高等学校で所蔵していた1895年発行のものである。

4 釋 迢空『春のことぶれ』梓書房、1930年（初版本）

国文学者、歌人、詩人など多分野で活躍した折口信夫（おりくちしのぶ、1887～1953）が「釋 迢空（しゃくちょうくう）」名で出した第二歌集。タブの原生林に魅せられ、再三訪問した能登の歌を40首以上含む。後に養子に迎えた羽咋出身の学生・藤井春洋との父子の歌碑が気多大社境内にある。展示本は暁烏文庫所蔵の初版本。

【会場2】「思考の森」展示コーナー

★以外は館外貸出可です。

能登が舞台となっている作品や能登に縁のある著者の作品の中から選びました。

外浦経由で能登半島を一周しましょう！裏面の地図と対応しています。

#	場所	著者	作品名	展示資料の書名、出版社、出版年等	分野
①	志雄	大伴家持 (718-785)	之乎路から直越え 来れば羽咋の海... (万葉集)	『越中万葉をたどる：60首で知る大伴家持 がみた、越の国。』笠間書院, 2013年 ▶『万葉集』の編纂に大きく関わった大伴 家持は天平18(746)～天平勝宝3(751)の5 年間、越中守として現・高岡市伏木の国庁 に赴任。その間、天平20(748)年に能登を巡 った際に詠んだ歌。	和歌
②	羽咋	釈 迢空(折口信 夫, 1887-1943)	春のことぶれ	『折口信夫全集 24 (短歌作品1)』中央公 論社, 1997年 ▶#4と同一作品を収録	和歌
③	能登金 剛・富 来	松本清張 (1909-1992)	ゼロの焦点	新潮文庫, 2008年 ▶単行本初出：1959年	小説
④			ゼロの焦点★	犬童一心監督 (2010年) による映画のDVD ▶野村芳太郎監督 (1961年) による映画の ラストでは、ヤセの断崖 (能登金剛の巖門 から北へ約13キロ離れた場所に位置) が登 場。テレビドラマ化も多数。	映画
⑤		福永武彦 (1918-1979)	貝あわせ★	『高等学校新選現代国語二』尚学図書, 出 版年不明 ▶単行本初出：随筆集『遠くのこ だま』(1970年)。かつて高校現代国語の教 科書に採用されていたことがある。展示資 料は教科書見本	随筆
⑥		加能作次郎 (1885-1941)	厄年	『加能作次郎選集』加能作次郎生誕百年祭 実行委員会, 1985年 ▶単行本初出：1920 年。加能作次郎は石川県羽咋郡西海村風戸 (現・志賀町) 出身	小説
⑦		さだまさし	夜神、または阿神 咩神	『はかばんさん：空蝉風土記』(新潮文 庫), 2015年 ▶単行本初出：2012年 架空の村・畦神村 (あぜがみむら、羽咋と 輪島の中程の海岸 (富来付近?) が舞台	小説
⑧	輪島	宮本 輝	幻の光	『幻の光』(新潮文庫), 1983年 ▶単行本 初出：1979年, 同名の短編集の中の一編。	小説
⑨	珠洲	柿木奈子	さいはてにて	集英社文庫, 2015年 ▶姜秀瓊監督 (2015 年) による同名の映画の脚本を担当した柿 木がノベライズしたもの。	小説
⑩		大伴家持	珠洲の海に 朝開 きして 漕ぎ来れ ば... (万葉集)	『越中万葉をたどる：60首で知る大伴家持 がみた、越の国。』笠間書院, 2013年 (②と 同一本)	和歌

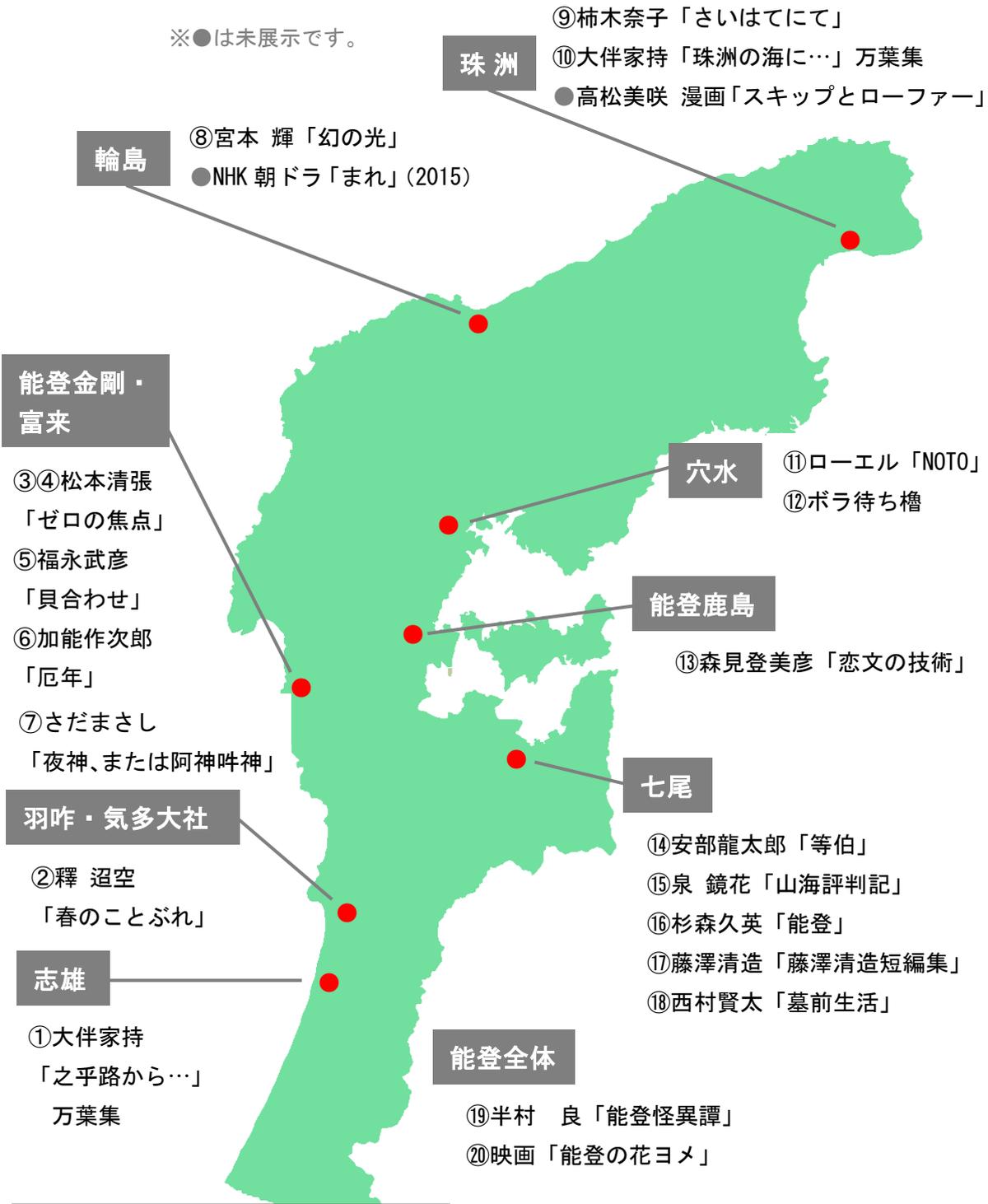
⑪	穴水	パーシヴァル・ローエル (1856-1943)	NOTO：能登・人に知られぬ日本の 辺境	十月社, 1991年 ▶原本の# 3(1895年刊) を宮崎正明が翻訳したもの	紀行文
⑫			ボラ待ち櫓模型★	▶本学附属図書館元職員が作成した模型	模型
⑬	能登 鹿島	森見登美彦	恋文の技術(新版)	ポプラ社文庫, 2024年 ▶初版単行本の初 出：2009年、新版は、能登半島地震後「新 版あとがき」を加えたもの。	小説
⑭	七尾	安部龍太郎	等伯(上・下)	日本経済新聞出版社, 2012年 ▶安土桃山 から江戸初期にかけて活躍した七尾出身の 絵師・長谷川等伯の生涯を描いた小説。直 木賞受賞作	小説
⑮		泉 鏡花 (1873-1939)	山海評判記(初 稿)	国書刊行会, 2014年 ▶昭和4(1929)年新聞 連載を単行本化したもの。挿絵：小村雪岱	小説
⑯		杉森久英 (1912-1997)	能登	集英社, 1984年 ▶# 2と同一本	小説
⑰		藤澤清造 (1889-1933)	藤澤清造短篇集	新潮文庫, 2012年 ▶オリジナル編集、藤澤 は現・七尾市出身。編集は西村賢太	小説
⑱		西村賢太 (1967-2022)	墓前生活	『どうで死ぬ身の一踊り』講談社, 2006年 ▶「死後弟子」として傾倒していた藤澤清 造との関わりを描いた作品	小説
⑲	能登 全体	半村 良 (193-2002)	能登怪異譚	集英社, 1985年 ▶全編を能登の方言で書いた怪異小説集	小説
⑳		白羽弥仁他	能登の花ヨメ★	白羽弥仁監督, 2008年東映作品のDVD ▶北國新聞創刊115年記念で作られた、平 成19(2007)年の能登半島地震後の能登を描 いた作品	映画
㉑		「能登の花ヨメ」 製作委員会	能登の花ヨメ	北國新聞創刊115年記念出版, 2008年 ▶㉑の映画の関連本	解説本
㉒	全集	石川近代文学館	加能作次郎・藤沢 清造・戸部新十郎	『石川近代文学全集5』1995年 ▶石川近代文学館編集の全集中の能登地方 出身の作家の作品を集めた巻	作品集
㉓		石川近代文学館	杉森久英	『石川近代文学全集6』1995年 ▶石川近代文学館編集の全集中の七尾出身 の杉森久英の作品を集めた巻	作品集
㉔	地震後	上田聡子、編乃 肌, 紅玉いづき	波の花風吹く	ツクリゴト, 2024年 ▶石川県内のクリエー ターによるチャリティ同人誌。著者の一人 の紅玉いづきは金沢大学文学部卒。	作品集
㉕		加藤シゲアキ他	あえのがたり	講談社, 2025年 ▶# 1と同一本	作品集
㉖		真山 仁	ここにいるよ	祥伝社, 2025年 ▶能登半島地震後の2025 年1～7月、北陸中日新聞等への連載小説	小説

「文学作品でめぐる能登」作品マップ

①之乎路(しきち)から直越え来(ただこえくれば)羽咋(はくひ)の海朝(あさ)なぎしたり船楫(ふねかぢ)もがも
大伴家持(巻一七・四〇二五)

⑩珠洲(すず)の海に朝開(あさびら)きして漕ぎ来(くれば)長浜(ながはま)の浦に月照(つきあ)りにけり
大伴家持(巻一七・四〇二九)

※●は未展示です。



能登半島地震後に出版された作品

㉔「波の花風咲く」



㉕「あえのがたり」



㉖真山 仁「ここにいるよ」

